

## 令和元年度「小学生による身近な生き物調査」実施要領

### 1 調査目的

市内に生息する身近な生き物の生息状況調査を実施することで、子どもたちが身近な生き物の状況を把握するとともに、生き物の生息環境を守り育てていくことの大切さを学習する機会とします。

また、調査結果を姫路市環境基本計画に掲げる環境指標（指標生物発見率（身近な生き物調査））として利用します。

### 2 調査期間

令和元年10月1日（火）～10月31日（木）

### 3 調査員

市立小学校 全6年生児童

### 4 調査対象

#### (1) 調査対象の生き物

夜に鳴く昆虫 選定理由 秋の風物詩として身近に親しまれてきた昆虫を調査対象として選定しました。

### 5 調査内容

平成26年の前回調査では、鳴き声を聞いたかどうかだけの調査でしたが、今回は鳴き声の種類についても調べます。夜間で昆虫の姿を見ることが出来なくても、たくさん鳴き声があることを実感してもらいたと思います。

### 6 調査場所

自宅周辺の公園、河原、草むらなど（各校区内に限ります）

(注1) この調査のために危険な場所等を調査する必要はありません。

(注2) 自宅周辺以外で調査を行う場合は、保護者に同伴頂くよう注意喚起をお願いします。

### 7 調査方法

(1) 事務局は、各小学校に6年生のクラス数に相当する調査票と資料を配付します。

(2) 第6学年担任者は、10月1日を目途に本調査の内容を調査員に周知してください。

(3) 調査期間中に調査対象の鳴き声を聞いた調査員の人数を把握し、11月15日（金）までに調査票を事務局へ提出してください。

(4) 事務局は、調査結果をもとに調査対象の生き物分布地図等を作成し、ホームページに掲載するとともに各学校に調査結果を配付します。

### 8 事務局

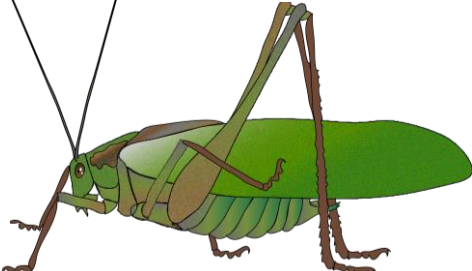
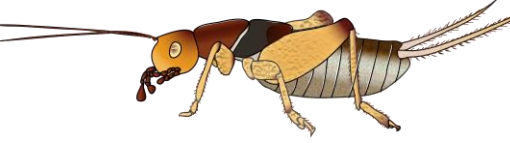
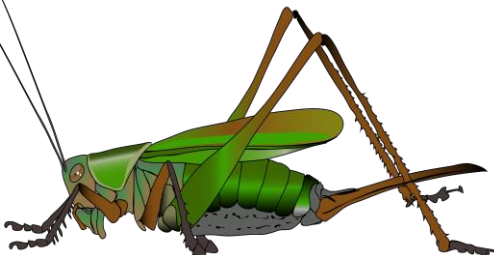
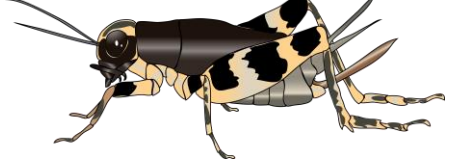

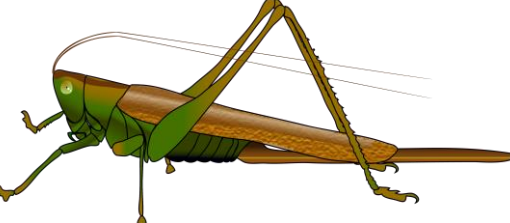
姫路市環境政策室 計画啓発担当

電話 079-221-2468 FAX 079-221-2469

E-mail kankyoho@city.himeji.lg.jp

# 秋の夜に鳴く虫の調査について

(児童配布用資料)

<p>1 「ガチャ、ガチャ、ガチャ」と鳴く虫</p> <p>クツワムシ 体長約5 cm</p> <p>クツワムシやナキイナゴなどがいます。クツワムシは比較的多く見られ、草むらなどで、うるさいくらいに大きな声で鳴きます。</p> 	<p>4 「チツ、チツ、チツ、チツ」と鳴く虫</p> <p>カネタタキ 体長約1 cm</p> <p>カネタタキ、セスジツユムシなどがいます。カネタタキは木の上で生活し、学校の校庭の木にも多く見られ、昼間にもよく聞くことができます。</p> 
<p>2 「ギー、スイッチョン」と鳴く虫</p> <p>ヒガシキリギリス 体長約5 cm</p> <p>ヒガシキリギリスやウマオイなどがいます。キリギリスは、空き地の草むらなどで昼間でも大きな音を出して鳴いています。</p> 	<p>5 「ジー、ジー、ジー」と鳴く虫</p> <p>マダラスズ 体長約1 cm</p> <p>マダラスズやカヤキリ、ヤブササキリなどがいます。マダラスズは、体長6 mmほどしかない小さなコオロギですが、はっきりとした大きな音を出します。</p> 
<p>3 「コロ、コロ、コロ、コロ」と鳴く虫</p> <p>エンマコオロギ 体長約3 cm</p> <p>エンマコオロギなどがいます。エンマコオロギは学校の校庭や空き地などの草むらの地面で、鳴いています。人の気配が無ければ昼間でも鳴いています。</p> 	<p>6 「リー、リー、リー」と鳴く虫</p> <p>アオマツムシ 体長約3 cm</p> <p>アオマツムシやツヅレサセコオロギ、カヤヒバリなどいろいろな昆虫がこの鳴き方をします。しかし、実際に聞いてみるとそれぞれ鳴き声は大きく違います。</p> 

※夜に耳をすませてみましょう。秋に鳴く虫にもいろいろな鳴き声があるのを、実感しながら、どの鳴き声に当てはまるか考えてみてください。